

離婚調停を申し立てる方へ

1 概要

離婚について、夫婦間で話し合っても解決できない場合や話し合い自体ができない場合には、家庭裁判所の調停手続を利用することができます。調停手続は、申立人（あなた）及び相手方からお話をお聴きし、離婚するかどうか、離婚することになった場合、未成年の子どもの親権者を誰にするのか、親権者とならない親と子の面会交流をどうするか、養育費などの子どもの養育に関わる事項、さらに、婚姻中に形成した財産の分け方（財産分与）、年金分割、慰謝料などに関する問題もあわせて話し合うことができます。調停手続の中で、話し合いによる解決ができない場合には、調停は終了（不成立）することになります。それでも、なお離婚を求めるには、別に離婚訴訟を起こす必要があります。

2 申立てに必要な費用

- ☐ 申立手数料・・・収入印紙１２００円分
- ☐ 連絡用の郵便切手・・・７７６円分（８４円切手：５枚，５０円切手：４枚，
２０円切手：４枚，１０円切手：７枚，１円切手：６枚）

3 申立てに必要な書類

裁判所には、次の書類を提出していただくことになりますが、必要に応じて申立人（あなた）用の控えをとり、調停期日には持参してください。

- ☐ 申立書
 - ※ 申立書は、法律の定めにより相手方に送付することになりますので、裁判所提出分のほかに、相手方用のコピー１通を提出してください。
- ☐ 事情説明書，お子さんについての事情説明書（未成年の子がいる場合に提出してください。）
- ☐ 時系列表 ☐ 連絡先等の届出書
- ☐ 進行に関する照会回答書
- ☐ 夫婦の戸籍謄本（全部事項証明書）→ ３か月以内に発行されたもの
- ☐ 養育費の必要な子どもがいる場合→収入がわかる資料（源泉徴収票，所得証明書（就職・転職して間もない場合は給与明細直近３か月分），確定申告書，非課税証明書の写しなど）
- ☐ 財産分与を希望する場合→夫婦の財産がわかる資料（不動産登記事項証明書，固定資産評価証明書，預金通帳写しなど）
- ☐ 年金分割を希望する場合→年金分割のための情報通知書（請求者の住所の記載のないもの）
 - ※ 相手方に年金分割を求める場合に必要となります。情報通知書の請求手続については、年金事務所（厚生年金）又は各共済年金制度の窓口にお問い合わせください。

4 申立先

相手方の住所地を管轄する裁判所となります。

ただし、相手方との間で、調停を行う家庭裁判所を合意しており、申立書とともに管轄合意書を提出した場合には、その家庭裁判所でも調停を行うことができます。

お問い合わせ先

盛岡家庭裁判所

盛岡市内丸９番１号(電話０１９－６２２－３４５８，３４４９)

※ 裏面もお読みください。

5 調停の進め方について

調停の流れは下図のとおりです。調停は、平日に行われ、1回あたりの時間はおおむね2時間程度です。調停では、それぞれ別々の待合室でお待ちいただき、交互又は同時に調停室に入ってもらい、調停委員が中立の立場で、それぞれのお話をお聴きしながら話し合いを進めていくことになります。

なお、必要に応じて、家庭裁判所調査官が、調停期日に立ち会ったり、調停期日の間に対象となる子の監護に関する問題等について調査を行う場合もあります。



6 調停手続で必要な書類を提出する場合

- (1) 書類を提出するときは、提出する書類のコピーを1通とり、そのコピーを裁判所に提出してください。調停期日には、裁判所に提出したコピーのもとになった書類を持参してください。
なお、相手方にも交付したいときは、さらに相手方用のコピーも提出してください。
- (2) 相手方に知られたくない情報（たとえば、源泉徴収票に記載された住所や勤務先名など）がある書類を提出する場合は、コピーにマスキング（黒塗り）してください。
- (3) 提出予定の書類の一部に、相手方に知られたくないが、裁判所に知らせる必要がある情報が記載されている場合は、書面の提出方法Q&A及びチャート図「相手方など関係者に知られたくない情報がある方へ」を参照して、非開示申出をしてください。申立書は、裁判所の窓口に用意されているほか、ウェブサイト（<http://www.courts.go.jp/>）からダウンロードして利用することができます（前記アドレスにより表示される裁判所のトップページから「各地の裁判所」→「盛岡地方裁判所・盛岡家庭裁判所」→「裁判手続を利用する方へ」→「手続案内」のページを参照してください。）。

7 提出された書類の閲覧・謄写（見せたり、コピーさせたりすること）について

調停手続中に提出された書類を閲覧・謄写したい場合には、家庭裁判所に閲覧・謄写の申請をすることができます。この申請に対しては、家庭裁判所が、円滑な話し合いを妨げないか等の事情を考慮して、閲覧・謄写させるかどうかを判断することになります。なお「事情説明書」「お子さんについての事情説明書」は、原則として閲覧・謄写の対象となります。

記入例 妻から夫に対して離婚の調停を求める場合

申立書を提出する裁判所

作成年月日

この申立書の写しは、法律の定めるところにより、申立ての内容を知らせるため、相手方に送付されます。

申立書の写しは相手方に送付されますので、あらかじめご了承ください。

裁判所から連絡がとれるように正確に記入してください。ご不明な点があれば、申立書を提出される裁判所にお問い合わせください。

受付印		夫婦関係等調整調停申立書 事件名 (離婚)	
(この欄に申立て1件あたり収入印紙1,200円分を貼ってください。)		<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 0 auto; text-align: center; line-height: 100px;">印 紙</div>	
収入印紙	円	(貼った印紙に押印しないでください。)	
予納郵便切手	円		

<input type="radio"/> 家庭裁判所 令和 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日	申立人 (又は法定代理人など) の記名押印	甲野 花子 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 30px; height: 30px; display: inline-block; vertical-align: middle; text-align: center; line-height: 30px;">印</div>
--	-----------------------------	---

添付書類	(審理のために必要な場合は、追加書類の提出をお願いすることがあります。) <input checked="" type="checkbox"/> 戸籍謄本(全部事項証明書) (内縁関係に関する申立ての場合は不要) <input checked="" type="checkbox"/> (年金分割の申立てが含まれている場合) 年金分割のための情報通知書 <input type="checkbox"/>	準口頭 <input type="checkbox"/>
------	--	---------------------------------

申立人	本籍(国籍)	(内縁関係に関する申立ての場合は、記入する必要はありません。)	
	住所	〒 <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="text"/> 都道府県 <input type="text"/> 市 <input type="text"/> 町 <input type="text"/> 番地 <input type="text"/> 号	
	フリガナ氏名	大正昭和平成 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日生 (<input type="text"/> 歳) 甲野 花子	
相手方	本籍(国籍)	(内縁関係に関する申立ての場合は、記入する必要はありません。)	
	住所	〒 <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="text"/> 都道府県 <input type="text"/> 市 <input type="text"/> 町 <input type="text"/> 番地 <input type="text"/> 号 <input type="text"/> アパート <input type="text"/> 号室 (<input type="text"/> 方)	
	フリガナ氏名	大正昭和平成 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日生 (<input type="text"/> 歳) 甲野 太郎	
対象となる子	住所	<input checked="" type="checkbox"/> 申立人と同居 / <input type="checkbox"/> 相手方と同居	平成 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日生 (<input type="text"/> 歳)
	フリガナ氏名	<input type="checkbox"/> その他 ()	
	住所	<input checked="" type="checkbox"/> 申立人と同居 / <input type="checkbox"/> 相手方と同居	平成 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日生 (<input type="text"/> 歳)
	フリガナ氏名	<input type="checkbox"/> その他 ()	
	住所	<input type="checkbox"/> 申立人と同居 / <input type="checkbox"/> 相手方と同居	平成 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日生 (<input type="text"/> 歳)
	フリガナ氏名	<input type="checkbox"/> その他 ()	

(注) 太枠の中だけ記入してください。対象となる子は、付随申立ての(1)、(2)又は(3)を選択したときのみ記入してください。□の部分は、該当するものにチェックしてください。

未成熟子の養育費、財産分与や慰謝料を請求するときは、相手方に支払ってほしい金額を記入してください。金額がはっきりしないときは「相当額」を選択してください。

この申立書の写しは、法律の定めるところにより、申立ての内容を知らせるため、相手方に送付されます。

- ※ 申立ての趣旨は、当てはまる番号（1 又は 2、付随申立てについては(1)～(7)）を○で囲んでください。
□の部分は、該当するものにチェックしてください。
- ☆ 付随申立ての(6)を選択したときは、年金分割のための情報通知書の写しをとり、別紙として添付してください（その写しも相手方に送付されます。）。

申 立 て の 趣 旨	
円 満 調 整	関 係 解 消
※ 1 申立人と相手方間の婚姻関係を円満に調整する。 2 申立人と相手方間の内縁関係を円満に調整する。	※ ① 申立人と相手方は離婚する。 2 申立人と相手方は内縁関係を解消する。 (付随申立て) ① 未成年の子の親権者を次のように定める。については父。 さくら・隼については母。 ② (□申立人 / <input checked="" type="checkbox"/> 相手方) と未成年の子さくら・隼 が面会交流する時期、方法などにつき定める。 ③ (□申立人 / <input checked="" type="checkbox"/> 相手方) は、子さくら・隼の養育費 として、1人当たり毎月 (<input checked="" type="checkbox"/> 金 〇〇 円 / □相当額) を支払う。 ④ 相手方は、申立人に財産分与として、 (□金 円 / <input checked="" type="checkbox"/> 相当額) を支払う。 ⑤ 相手方は、申立人に慰謝料として、 (<input checked="" type="checkbox"/> 金 〇〇 円 / □相当額) を支払う。 ⑥ 申立人と相手方との間の別紙年金分割のための情 報通知書 (☆) 記載の情報に係る年金分割について の請求すべき按分割合を、 (<input checked="" type="checkbox"/> 0.5 / □ (.....)) と定める。 (7)

申 立 て の 理 由	
同 居 ・ 別 居 の 時 期	
同居を始めた日・昭和.....年.....月.....日 平成.....令和.....	別居をした日・昭和.....年.....月.....日 平成.....令和.....
申 立 て の 動 機	
※当てはまる番号を○で囲み、そのうち最も重要と思うものに◎を付けてください。 1 性格があわない ② 異性関係 3 暴力をふるう 4 酒を飲みすぎる 5 性的不調和 6 浪費する 7 病 気 8 精神的に虐待する ⑨ 家族をすててかえりみない 10 家族と折合いが悪い 11 同居に応じない ⑫ 生活費を渡さない 13 そ の 他	

夫婦 (2/2)

按分割合（分割割合）を上限で定めることを求めるときは、「□0.5」を選択してください。それ未満の割合を定めることを求めるときは、「□ (.....)」を選択し、(.....)に具体的な按分割合を記入してください。

情報通知書に記載されている住所を相手方に知られたくない事情がある場合は、その部分を覆い隠してコピーする方法により写しを作成してください。（原本はそのまま提出してください。）

同居と別居を繰り返しているときは、一番最後の別居の日を記入してください。

夫婦が初めて同居をした日を記入してください。

事情説明書（夫婦関係調整）

この書類は、申立ての内容に関する事項を記載していただくものです。あてはまる事項にチェックをつけ、空欄に具体的に記入して、申立ての際に提出してください。

なお、この書類は、相手方には送付しませんが、相手方から申請があれば、閲覧やコピーが許可されることがあります。

1 この問題でこれまでに家庭裁判所で調停や審判を受けたことがありますか。	<input type="checkbox"/> ある 平成・令和 年 月頃 家裁 支部 ・ 出張所 <input type="checkbox"/> 今も続いている。 申立人の氏名 _____ 事件番号 平成・令和 年（家 ）第 _____ 号 <input type="checkbox"/> すでに終わった。 <input type="checkbox"/> ない			
2 調停ではどのようなことで対立すると思われますか。（該当するものに、チェックしてください。複数可。）	<input type="checkbox"/> 離婚・内縁関係解消のこと <input type="checkbox"/> 同居または別居のこと <input type="checkbox"/> 子どものこと（ <input type="checkbox"/> 親権 <input type="checkbox"/> 養育費 <input type="checkbox"/> 面会交流 <input type="checkbox"/> その他 _____） <input type="checkbox"/> 財産分与の額 <input type="checkbox"/> 慰謝料の額 <input type="checkbox"/> 負債（ローンなど）のこと <input type="checkbox"/> 生活費のこと <input type="checkbox"/> 異性関係 <input type="checkbox"/> その他（ _____ ）			
3 婚姻期間と別居期間	婚姻（内縁）期間 年 月		別居期間 年 月	
4 それぞれの同居している家族について記入してください（本人を除く。）。	申立人（あなた）			
	氏 名	年 齢	続 柄	職 業 等
※申立人と相手方が同居中の場合は申立人欄に記入してください。				
5 それぞれの収入はどのくらいですか。	月収（手取り） 約 万円 賞与（年 回）計約 万円 <input type="checkbox"/> 実家等の援助を受けている。月 万円 <input type="checkbox"/> 生活保護等を受けている。月 万円		月収（手取り） 約 万円 賞与（年 回）計約 万円 <input type="checkbox"/> 実家等の援助を受けている。月 万円 <input type="checkbox"/> 生活保護等を受けている。月 万円	
6 住居の状況について記入してください。	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 当事者以外の家族所有 <input type="checkbox"/> 賃貸（賃料月額 円） <input type="checkbox"/> その他（ _____ ）		<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 当事者以外の家族所有 <input type="checkbox"/> 賃貸（賃料月額 円） <input type="checkbox"/> その他（ _____ ）	
7 財産の状況について記入してください。	(1) 資産 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> 土地 <input type="checkbox"/> 建物 <input type="checkbox"/> 預貯金（約 万円） <input type="checkbox"/> その他 ※具体的にお書きください。 （ _____ ） <input type="checkbox"/> なし		(1) 資産 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> 土地 <input type="checkbox"/> 建物 <input type="checkbox"/> 預貯金（約 万円） <input type="checkbox"/> その他 ※具体的にお書きください。 （ _____ ） <input type="checkbox"/> なし	
	(2) 負債 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> 住宅ローン（約 万円） <input type="checkbox"/> その他（約 万円） <input type="checkbox"/> なし		(2) 負債 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> 住宅ローン（約 万円） <input type="checkbox"/> その他（約 万円） <input type="checkbox"/> なし	
8 夫婦が不和となったいきさつや調停を申し立てた理由などを記入してください。	----- ----- -----			

お子さんについての事情説明書

この書類は、申立人と相手方との間に未成年のお子さんがある場合に記載していただくものです。あてはまる事項にチェックをつけ、空欄に具体的に記入して、申立ての際に提出してください。

なお、この書類は、相手方には送付しませんが、相手方から申請があれば、閲覧やコピーが許可されることがあります。

1 現在お子さんを主に監護している人は誰ですか。	<input type="checkbox"/> 申立人 <input type="checkbox"/> 相手方 <input type="checkbox"/> その他（ ）
2 お子さんと別居している場合、別居している父または母と子の関係について、記入してください。 ＊ お子さんと申立人及び相手方が同居している場合には記載する必要はありません。	<input type="checkbox"/> 別居している父または母と会っている。 <input type="checkbox"/> 別居している父または母と会っていないが、電話やメールなどで連絡を取っている。 <input type="checkbox"/> 別居している父または母と会っていないし、連絡も取っていない。 →上記のような状況となっていることについて理由などがあれば、記載してください。
3 お子さんに対して、離婚等について裁判所で話し合いを始めることや、今後の生活について説明したことはありますか。	<input type="checkbox"/> 説明したことはない。 <input type="checkbox"/> 説明したことがある。 →説明した内容やそのときのお子さんの様子について、裁判所に伝えておきたいことがあれば、記載してください。
4 お子さんについて、何か心配していることはありますか。	<input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある →心配している内容を具体的に記載してください。
5 お子さんに関することで裁判所に要望があれば記入してください。	

この書類は、夫婦又は家族に関する重要な出来事（家族史）を記載していただくものです。以下の記載例を参考に、各出来事について、簡潔に記載してください（記載例にない出来事も記載していただいて構いません。）。記入欄不足の場合は、コピーして使用してください。

なお、この書類は、相手方には送付しませんが、相手方から申請があれば、閲覧やコピーが許可されることがあります。

記載例

H20. 11. 15	申立人と相手方が婚姻
H21. 3. 31	申立人職場退職
H22. 3. 5	長男出生
H24. 10. 9	長女出生
H25. 6. 1	自宅新築
H28. 4. 1	長男小学校入学、長女保育園入園
H28. 5. 1	申立人再就職
H30. 4. 1	相手方と別居して、子どもと一緒に申立人の実家へ転居

時系列表

[illegible]

進行に関する照会回答書（申立人用）

この書面は、調停を進めるための参考にするものです。他の当事者に写しを送付したり、見せたりすることはありません。あてはまる事項にチェックをつけ(複数可)、空欄には具体的な事情等を記入して、申立ての際に提出してください。

1 この申立てをする前に相手方と話し合ったことがありますか。	<input type="checkbox"/> ある。(そのときの相手方の様子にチェックしてください。) <input type="checkbox"/> 感情的で話し合えなかった。 <input type="checkbox"/> 冷静であったが、話し合いはまとまらなかった。 <input type="checkbox"/> 態度がはっきりしなかった。 <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> ない。(その理由をチェックしてください。) <input type="checkbox"/> 全く話し合いに応じないから。 <input type="checkbox"/> 話し合っても無駄だと思ったから。 <input type="checkbox"/> その他()	
2 相手方は裁判所の呼出しに応じると思いますか。	<input type="checkbox"/> 応じると思う。 <input type="checkbox"/> 応じないと思う。 <input type="checkbox"/> 分からない。	(理由等があれば、記載してください。)
3 調停での話し合いは円滑に進められると思いますか。	<input type="checkbox"/> 進められると思う。 <input type="checkbox"/> 進められないと思う。 <input type="checkbox"/> 分からない。	(理由等があれば、記載してください。)
4 この申立てをすることを相手方に伝えていますか。	<input type="checkbox"/> 伝えた。 <input type="checkbox"/> 伝えていない。 <input type="checkbox"/> すぐ知らせる。 <input type="checkbox"/> 自分からは知らせるつもりはない。 <input type="checkbox"/> 自分からは知らせにくい。	
5 相手方の暴力等がある場合には、記入してください。	<p>1 相手方の暴力等はどのような内容ですか。 <input type="checkbox"/> 大声で怒鳴る・暴言をはく。<input type="checkbox"/> 物を投げる。<input type="checkbox"/> 殴る・蹴る。<input type="checkbox"/> 凶器を持ち出す。 (1) それはいつ頃のことですか。 _____ 頃 から _____ 頃 まで (2) 頻度はどのくらいですか。 _____ 回</p> <p>2 相手方の暴力等が原因で治療を受けたことはありますか。 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある(ケガや症状等の程度)</p> <p>3 配偶者暴力に関する保護命令について、該当するものをチェックしてください。 <input type="checkbox"/> 申し立てる予定はない。<input type="checkbox"/> 申し立てる予定である。 <input type="checkbox"/> 申し立てたが、まだ結論はでていない。<input type="checkbox"/> 申し立てたが、認められなかった。 <input type="checkbox"/> 認められた。 ※保護命令書の写しを提出してください。</p> <p>4 相手方の調停時の対応について <input type="checkbox"/> 裁判所で暴力をふるうおそれはない。 <input type="checkbox"/> 申立人と同席しなければ暴力をふるうおそれはない。 <input type="checkbox"/> 裁判所職員や第三者のいる場所でも暴力をふるうおそれがある。 <input type="checkbox"/> 裁判所への行き帰りの際に暴力をふるうおそれがある。 <input type="checkbox"/> 裁判所に凶器を持ってくるおそれがある。 <input type="checkbox"/> 裁判所へ薬物、アルコール類を飲んでくるおそれがある。</p>	
6 調停期日の差し支え日等があれば書いてください。	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 申立人の <div> <input type="checkbox"/> 希望日 <input type="checkbox"/> 差し支え日 </div> <div> 曜日 午前・午後 曜日 午前・午後 </div> </div> <p>(すでに差し支えることがわかっている日→)</p> <hr/> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 相手方の <div> <input type="checkbox"/> 希望日 <input type="checkbox"/> 差し支え日 </div> <div> 曜日 午前・午後 曜日 午前・午後 </div> </div> <p>(※分からなければ記載しなくてもかまいません。)</p>	
※ 調停は平日の午前または午後に行われます。		
7 裁判所に配慮を求めることがありますか。		

書面の提出方法Q & A（非開示希望編）

Q1

相手方や利害関係人に住所や電話番号を知られたくありません。申立書に住所や電話番号を記載する欄がありますが、どうしたらいいですか？

知られたくない住所等は記載しないでください。電話番号は空欄でも構いません。

申立書には知られてもよい住所等を記載してください。裁判所からの連絡は「連絡先等の届出書」に記載された住所や電話番号に行いますので、**非開示を希望する項目にチェックを入れて提出してください。**

弁護士に委任する場合には、委任状にも知られたくない住所は記載しないでください。

Q2

提出予定の書面(申立書を除く。)の一部に、**裁判所に知らせる必要がなく**、他の当事者や利害関係人に知られたくない情報が記載されています。どのように提出すればいいですか？ 例)診断書の住所、源泉徴収票の住所など

※マイナンバーの記載は不要です(マイナンバーに関する説明書を参照してください。)

書面をコピーするなどして該当箇所にマスキング（黒塗り）をして提出してください。

住所等だけでなく、**住所等を推知させる情報**(例:子の学校名、住所近隣の施設名、写真の背景)の**マスキングも忘れず**にしてください。提出後にマスキングをすることはできません。

Q3

提出予定の書面(申立書を除く。)の一部に、**裁判所に知らせる必要があり**、他の当事者や利害関係人に知られたくない情報が記載されています。どのように提出すればいいですか？

「非開示の希望に関する申出書」を作成して提出してください。

「非開示の希望に関する申出書」に必要事項を記入し、提出する書面をコピーした上で、非開示希望部分をマーカーなどで特定した上で、申出書と提出する書面を**留めて一体として提出してください**。ただし、申出をした場合でも、他の当事者等からの閲覧謄写請求が認められる場合もあります(Q4参照)。

Q4

非開示希望の申出をすれば、他の当事者や利害関係人に開示されませんか？

開示される可能性があります。

他の当事者等から閲覧や謄写(コピー)の請求がされた場合、裁判所は、**法律の規定に従って、認める、認めない**を判断することになります(※)。開示される可能性があることを念頭に置いて、本当にその書面を裁判所に提出する必要があるかどうか、慎重に検討してください。 ※家事事件手続法47条3項及び4項、254条3項

Q5

書面提出時に「非開示の希望に関する申出書」を添付しなかった場合、当該書面はどのように扱われますか？

他の当事者等への非開示を希望しない書面として扱います。

閲覧や謄写(コピー)の請求がされた場合、**書面提出者への照会はいたしません**のでご注意ください。

具体的な書面の提出方法は、各係までお問い合わせください。

盛岡家庭裁判所 調停係 019-622-3458

審判係 019-622-3452

後見係 019-622-3457

相手方など関係者に知られたくない情報がある方へ



提出する書面の中の
知られたくない情報は
住所・電話番号
ですか？

いいえ



裁判所に知
らせる必要
がある情報
を含んだも
のですか？

いいえ

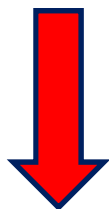


Q2

**マスキング
(黒塗り)**
して提出し
てください

Q1

はい



申立書やその他提出書面には
現住所等は記載しないでください(連絡先等の届出書は除く)

※ 調停では申立書の写しを原則相手
方に送付します

「連絡先等の届出書」の非開示
希望欄にチェックしてください

はい



Q3

「非開示の
希望に関す
る申出書」
を提出してく
ださい

Q4・5

非開示申出をして
も法律の定めによ
り※閲覧謄写が許
可される場合があ
ります

※ 閲覧謄写とは、当事者や利害関係
人が記録を見たりコピーすることです。

詳細はQ&Aを参照ください

平成 年（家 ）第 号

非開示の希望に関する申出書

1 別添の書面については、非開示とすることを希望します。

※ 非開示を希望する書面ごとにこの申出書を作成し、本申出書の後に当該書面をステープラー（ホチキスなど）などで付けて一体として提出してください。

※ 資料の一部について非開示を希望する場合は、当該資料をコピーした上で、その部分が分かるようにマーカーで色付けするなどして特定してください。

※ **非開示を希望しても、裁判官の判断により開示される場合もありますので、あらかじめご了承ください。**なお、連絡先等の届出書について非開示を希望する場合には、原則として開示により当事者や第三者の私生活・業務を害するおそれがあると解し、開示することはしない取扱いになっています。

2 非開示を希望する理由は、以下のとおりです（当てはまる理由にチェックを入れてください。複数でも結構です。）。

- ☐ 事件の関係人である未成年者の利益を害するおそれがある。
- ☐ 当事者や第三者の私生活・業務の平穩を害するおそれがある。
- ☐ 当事者や第三者の私生活についての重大な秘密が明らかにされることにより、その者が社会生活を営むのに著しい支障を生じるおそれがある。
- ☐ 当事者や第三者の私生活についての重大な秘密が明らかにされることにより、その者の名誉を著しく害するおそれがある。
- ☐ その他（具体的な理由を書いてください。）

.....
.....
.....

平成 年 月 日

氏 名 _____ 印

今後、裁判所があなた宛に書類を送付したり、連絡をする際の、「送付場所」や「平日昼間の連絡先」を記載してください。この書面は、非開示の希望の有無に関わらず提出してください。

一度届け出た連絡先等に変更が生じた場合には、再度この書面を提出してください。

☐ (家イ)

平成 年 第 号

☐ (家)

連絡先等の届出書 (□変更届)

平成 年 月 日

☐ 申立人 / ☐ 相手方 ☐ 代理人 氏名： _____ 印

1 送付場所

標記の事件について、書類は次の場所に送付してください。

☐ 申立書記載の住所のとおり

☐ 委任状記載のとおり

☐ 下記の場所

〒

場所： _____

場所と本人との関係：☐ 住所 ☐ 就業場所 (勤務先)

☐ その他 _____

2 平日昼間の連絡先

携帯電話番号： _____

固定電話番号 (□自宅 / □勤務先)： _____

☐ どちらに連絡があってもよい。

☐ できる限り、☐ 携帯電話 / ☐ 固定電話への連絡を希望する。

3 非開示の希望

☐ 上記1の送付場所について、非開示を希望する。

☐ 上記2の電話番号 (□携帯 / □固定) について、非開示を希望する。

非開示とは、反対当事者 (申立人であれば相手方、相手方であれば申立人) に知られたくない情報を反対当事者に見せないことです。反対当事者に知られたくない情報 (住所や電話番号) がある場合には、申立書等には記載せず、本書面に記載し、「3 非開示の希望」の非開示を希望する情報のチェックボックスに、チェックをしてください。